

全国各地の予選会レポート

Road to ジョッキーベイビーズ

ジョッキーベイビーズ出場を目指して全国各地で激しい予選が繰り返されました。その模様をレポートします。

関東地区

8月1日(木) JRA競馬学校「関東地区代表決定戦」

JRA馬事公苑が翌年のオリンピック・パラリンピック大会に向け整備工事のため、昨年に続き千葉県のJRA競馬学校で開催されました。強い日差しの中、技術審査(部班競技)とジムカーナ(※)により、出場者12名の中から4名を選抜。決勝はダートコース直線350mで行われました。決勝は全頭拮抗の好レースとなりましたが、好スタートの舟山瑠泉くん(中学1年生)が見事な手綱さばきで優勝し関東地区代表の座を射止めました。



関西地区

8月18日(日) 三木ホースランドパーク「みっきいポニーレース」

“ジョッキーベイビーズの甲子園”こと、秋の東京競馬場芝コースを目指し、四国を含む7名がエントリー。予選2レースの上位2名(計4名)が決勝レースに進出しました。距離は300m、スタート後にカーブがある位置取りが難しいコースですが、日頃の練習の成果もあり、好スタートを切った湯窪佳生くん(中学1年生)が後続とリードを保ったままゴール。夏の甲子園にも負けない熱い戦いの中、見事全国大会進出となりました。



北海道地区

7月28日(日) JRA日高育成牧場「北海道地区代表決定戦」

毎年激戦が繰り返される北海道地区。馬産地浦河では本年も熱戦が行われました。同地区には10名がエントリー。予選2レースの上位3名(計6名)が決勝に進出しました。決勝は300mで行われ、優勝した大池晴駆くん(小学5年生)を含む浦河ポニー少年団2頭が好スタート。終始2頭のマッチレースとなりましたが、スタートからわずかの差で先行していた大池くんがそのままの体勢でゴールし、全国大会の切符を勝ち取りました。



長野地区

8月4日(日) 高ボッチ高原草競馬場「高ボッチ高原観光草競馬大会」

快晴のもと、高ボッチ高原草競馬場ダート800m(400m×2周)において、4名が熱戦を繰り広げました。スタート後、3番手に控えた佐野遥久くん(中学1年生)が、1周目正面で先頭に躍り出ると、2周目も手応え十分で先頭のまま押し切り、昨年2着だった悔しさを晴らして東京競馬場への切符を手に入れました。佐野くんは3年前の第8回の決勝大会にも長野地区代表として出場しており、今回が2度目の挑戦となります。



東海地区

7月28日(日) JRA中京競馬場「東海地区代表決定戦」

東海地区代表決定戦は、イベント「2019感謝祭in中京競馬場」において、ダートコース直線300mで行われました。前日に台風が接近し、天候が心配されましたが、当日は無事青空のもと、4名の出場者が熱戦を繰り広げました。レースは、序盤で先頭に立ちそのまま後続を突き放した水口乗馬クラブ所属の小野俊斗くん(中学1年生)と桜花号のコンビが見事優勝。東海地区代表初優勝の期待を背負い、東京競馬場へと駒を進めました。



九州地区

8月25日(日) JRA宮崎育成牧場「馬に親しむ日」

全国大会最後の一枠をかけた争いは昨年とは違ってかわつての雨模様の中、「馬に親しむ日」のイベントとして代表決定戦は行われました。合計11名のエントリーがあり、予選3レースの上位2名(計6名)が決勝に進出。代表決定戦はダート直線300mで行われ、大外枠から好スタートを決めたルナ・クイーン号と吉永梨乃さん(小学6年生)のコンビがレース中盤以降は後続を突き放し、2年連続九州地区代表の座を射止めました。



沖縄地区

7月14日(日) 美原乗馬クラブ「沖縄地区代表選考会」

南国らしい照りつける日差しのもとで実施された沖縄地区代表選考会は、離島を含む県内から10名のエントリーがありました。同選考会はレース形式ではなく、技術審査(部班運動)及び直線走行審査により代表者の選考を行いました。3人の審判員が、「姿勢」、「扶助操作」、「バランス・リズム」を対象に採点を行った結果、最も優秀な成績を収めた木部千乃さん(中学1年生)が沖縄地区代表に選出されました。



※ジムカーナ：指定経路を走るタイムレース
※各地区予選の決勝レースはジョッキーベイビーズ公式ホームページにて見ることができます(沖縄地区予選を除く)。

スタートの方法 (カウントダウン方式)



★口取り(引き手)はJRA職員が行います。
★危険防止のためムチは持ちません。

※ポニーはゲートの練習をしていません。制止させずに引き手を放すやり方では、馬がよれる可能性が高まり危険なため、上記スタート方法を採用しています。

過去の ジョッキーベイビーズ 優勝者

★第1回(2009年) 木村拓己くん(北海道)	★第5回(2013年) 斎藤 新くん(関東)
★第2回(2010年) 渡邊亮介くん(関東)	★第6回(2014年) 角田大和くん(関西)
★第3回(2011年) 石井李佳さん(関東)	★第7回(2015年) 大池峻馬くん(北海道)
★第4回(2012年) 小林勝太くん(長野)	★第8回(2016年) 上薄龍旺くん(九州)
	★第9回(2017年) 加藤雄真くん(東北・新潟)
	★第10回(2018年) 木村暁琉くん(長野)

注目の決勝レースは、いよいよ10月13日(日)、東京競馬場で行われます。お楽しみに!!

※天候その他の理由により、イベントを中止または変更する場合がございます。予めご了承ください。

★ジョッキーベイビーズ公式ホームページ

ジョッキーベイビーズ

検索

